

2026
September
Vol.74

建設・環境技術レポート&トピックス

I-NET

Contents

新たな取り組み

- 02 TNFDコンサルティング「自然と共生した企業活動の支援」
- 04 ネイチャーポジティブ×地方創生の推進
- 06 河川整備の将来像を共有するためのデジタルパス技術

Working Report

新たな取り組み

- 08 放射光でみるPFASの凝集構造
- 10 まちづくりの総合マネジメント
(西風新都梶毛西地区)

人と地球の未来のために

いであ株式会社

Column

グリーンインフラ推進戦略2030

～自然資本の価値を活かし、社会課題の解決へ～

大阪支社 理事 田井中 靖久

「グリーンインフラ※1推進戦略2030」は、2026年1月に「国土交通省環境行動計画(2025年6月策定)」の2030年度までの実行計画として策定されました。本戦略は、「グリーンインフラの活用が当たり前の社会」の実現を図り、2050年に向けて自然共生社会の実現を目指しています。

近年、国内外におけるウェルビーイングの向上や持続可能な土地利用、国土強靱化等の要請を背景に、自然を活用して社会課題の解決を図るNbS(Nature-based Solutions)が注目されています。一方で、その基盤となる自然資本※2は気候変動や生物多様性の損失によりその機能が揺らいでおり、環境を軸とした新たな経済・社会システムへの転換が求められています。こうした状況を踏まえ、グリーンインフラの取り組みを個別施策にとどまらず、分野横断的に各種事業や地域づくりへと適用を拡大していく方向性が示されています。

本戦略では、グリーンインフラを「自然の多様な機能を活用した社会資本」と定義し、ウェルビーイング向上への貢献等を明確に位置づけました。また、人と自然の関わりのなかで形成されるものとして、戦略的な計画・持続的な維持管理・多様な主体の参画によってその効果発現を最大化することが重要とされています。さらに、地域の特性・資源を踏まえた取り組みの推進、地域主体での推進、流域単位での広域的視点の導入も求められています。

効果の捉え方としては、環境的效果を基盤に社会的・経済的效果が重層的に積み上がり、最終的にウェルビーイングの向上へとつながる構造を示した点が特徴です。自然資本を基盤とした価値創出の考え方が、より明確に整理されたといえます。

これまで、グリーンインフラの活用は環境配慮を中心に推進されてきましたが、環境的效果にとどまらず社会的・経済的效果やウェルビーイング向上への貢

献まで含めた、多面的な効果の見える化や評価手法は十分ではありませんでした。本戦略では、①国民的な機運・理解の醸成、②多様な効果の見える化、③官民の取り組みを促進する環境整備、④資金調達の円滑化、⑤新技術・DXの活用、⑥国際展開を掲げ、評価手法やガイドライン整備とともにKPI(目標の達成度を測る指標)を設定し、多面的な価値を適切に評価する枠組みづくりを進めています。これにより、取り組み効果の社会的共有や普及促進、さらには民間投資の誘発が期待されます。

国土交通省の個別事業では、持続的で快適な都市・生活空間の形成、防災・減災、暑熱対策、生物多様性の確保、地域経済の活性化等7分野を対象に、「都市・道路緑化」「流域治水」「ブルーインフラ」等を推進しています。これらは多機能性、地域性、エコロジカルネットワーク、レジリエンスを備え、自然資本の活用による課題解決を目指すものです。

このように、インフラの評価軸は単一機能から多様な便益を創出する存在へと拡張しつつあります。グリーンインフラは自然を価値創出の基盤とし、複数の社会課題に応えるアプローチとして位置づけられます。自治体や民間事業者との連携により、地域ニーズに応じた具体的な実装と継続的運用が重要となります。

当社は、社会基盤形成と環境保全の総合コンサルタントとして、NbSの考え方にに基づき建設と環境を連携させ、自然の多機能性を活かした提案を行います※3。コベネフィット(副次的利益)の創出を通じて社会課題の解決とウェルビーイング向上に貢献しながら、グリーンインフラの普及・推進に取り組んでまいります。

※1 自然環境がもつ機能を活用して、社会課題や環境課題を解決しようとする考え方や取り組み

※2 社会や経済を支える自然そのものを「資本」として捉える考え方

※3 当社は、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の研究開発テーマ-1「魅力的な国土・都市・地域づくりを評価するグリーンインフラに関する省庁連携基盤」に共同研究開発機関として参画し、ウェルビーイングとグリーンインフラの評価方法に関する研究を進めています。



CORPORATE DATA

社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

商号 いであ株式会社
創立 1953 (昭和28) 年5月
本社所在地 東京都世田谷区駒沢3-15-1
資本金 31億7,323万円
役員 代表取締役会長 田畑 日出男
代表取締役社長 田畑 彰久
従業員数 1,112名 (2026年4月1日現在、嘱託・顧問を含む)



<https://www.ideacon.co.jp/>

事業内容

- 建設コンサルタント事業
河川・海岸・港湾・道路・橋梁の整備・保全、交通・都市・地域計画、防災・減災対策
- 環境コンサルタント事業
環境調査、環境評価・環境計画、自然環境の保全・再生・創造、環境化学分析、環境リスク評価、
廃棄物・有害化学物質対策、食品分析、衛生検査、生命科学
- 情報システム事業
情報基盤の構築支援、防災・減災システム開発、気象・健康・生活情報の提供・配信
- 海外事業
インフラマネジメント、環境保全・創出



環境の会社が本気で作った 「いであの蜂蜜」

環境保全のプロとして、富士山麓で生態系保全と
養蜂を融合したプロジェクトから、
特別なプレミアム蜂蜜「北彩 HOKUSAI」誕生
深い森の中で人知れず咲き誇る花々の蜜を集めてできた
この蜂蜜は、ここにしかない特別な味わい

美味しさと安全へのこだわり

- 養蜂場は全国的にも珍しい富士山麓の森の中
(忍野村・山中湖村)
- 水分調整や加熱処理なしの本物の天然蜂蜜
- 糖度が十分高くなるまで熟成させてから収穫
- HACCP認証取得施設で瓶詰めを実施
- 食品安全検査は外部機関と自社でダブル分析



商品ラインナップ

■紅富士 個性的! 100種類以上の植物の花蜜や
樹液が蜜源、深い味わいと香りが特徴

■富士黄金 万人受け! 里山に咲く植物が主な蜜源で
クセが少ない王道の蜂蜜

ご注文は当社Webサイトより承ります
<https://www.ideacon.co.jp/lifecare/>



本社 基盤本部
情報システム事業本部
環境創造研究所
食品・生命科学研究
施設・常設環境研究所
大沖 阪南支社
札幌 札幌支店
東北 北見支店
福島 古民支店
北名 古民支店
中四 古民支店
九山 古民支店
山陰 古民支店
システム開発センター
IDEA R&D Center
富士 研修所
富 営
海外事務所
連結子会社

〒154-8585 東京都世田谷区駒沢 3-15-1
〒158-0094 東京都世田谷区玉川 3-14-5
〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-2
〒224-0025 神奈川県横浜市都筑区早渕 2-2-2
〒421-0212 静岡県焼津市利右衛門 1334-5
〒559-8519 大阪府大阪市住之江区南港北 1-24-22
〒905-1631 沖縄県名護市宇屋我 252
〒559-8519 大阪府大阪市住之江区南港北 1-24-22
〒900-0003 沖縄県那覇市安謝 2-6-19
〒060-0062 北海道札幌市中央区南二条西 9-1-2
〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉3-4-43
〒960-8032 福島県福島市陣場町 9-3-102
〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通 2-5-1
〒455-0032 愛知県名古屋市中区入船 1-7-15
〒730-0841 広島県広島市中区舟入町 6-5
〒760-0074 香川県高松市桜町 1-6-4
〒812-0055 福岡県福岡市東区東浜 1-5-12
〒690-0061 島根県松江市白鷺本町 13-4
〒370-0841 群馬県高崎市栄町 16-11
Klong Luang, Pathumthani 12120, Thailand
〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖村山中字茶屋の段 248-1 山中湖畔西区 3-1
青森、盛岡、秋田、山形、いわき、茨城、群馬、北関東、千葉、神奈川、相模原、富山、金沢、福井、山梨、飯田、長野、岐阜、恵那、静岡、沼津、菊川、
豊川、三重、桑名、滋賀、神戸、奈良、和歌山、鳥取、岡山、下関、山口、徳島、高知、北九州、佐賀、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄北部
ボゴール(インドネシア)、ロンドン(英国)

新日本環境調査株式会社、沖縄環境調査株式会社、東和環境科学株式会社、株式会社Ides、株式会社クレアテック、
以天安(北京)科技有限公司

i-NET

SEPTEMBER 2026 Vol.74 (2026年9月発行)

編集・発行: いであ株式会社 経営企画本部企画広報部
〒154-8585 東京都世田谷区駒沢3-15-1
TEL. 03-4544-7603, FAX. 03-4544-7711
本冊子内容の無断転載を禁止します。

人と地球の未来のために —
いであ株式会社

お問い合わせ先
E-mail: idea-quay@ideacon.jp